

# 主 論 文 要 旨

報告番号	甲 ㊦ 第	号	氏 名	宇 野 俊 介
主 論 文 題 名				
Comorbidities associated with nontuberculous mycobacterial disease in Japanese adults: a claims-data analysis (我が国のレセプトデータを利用した成人の非結核性抗酸菌症における併存症検索)				
( 内 容 の 要 旨 )				
<p>非結核性抗酸菌 (nontuberculous mycobacteria: NTM) 症は、治療困難な慢性感染症の一つである。NTM症を治療するにあたり、関連する併存疾患に注意することが重要である。しかし国や地域ごとに層別化された併存疾患の有病率に関するデータは乏しい。NTM症の中でも最も頻度の高い肺NTM症には慢性閉塞性肺疾患 (chronic obstructive pulmonary diseases : COPD) や肺癌、関節リウマチとの関連性があることを示す後ろ向きコホート研究がある。また、COPDや骨粗鬆症、逆流性食道炎や嚢胞性線維症を合併しやすいことを示唆するpopulation-based studyがある。しかし我が国のNTM患者の併存疾患に関するデータは報告されていない。そのため本研究は健康保険請求データを使用し、NTM症全体に関連する併存疾患を明らかにする目的で実施した。</p> <p>株式会社JMDCから提供された2014年の保険請求データを用いて、横断的に解析した。20-75歳の成人で、NTM症の病名のついた保険請求が1年間に3件以上あった症例、およびNTM症の病名がない対照者を、性別と年齢をマッチさせて比率1:10で抽出した。これまでNTM症との関連が示唆された30の併存疾患を選択し、症例と対照群の間で有病率を比較した。30疾患を男女別に解析するため、<math>0.05/60=0.000833</math>を有意水準として解析した。</p> <p>JMDCのデータベースからNTM症患者419人 (男性134人、女性285人) と非NTM症患者4190人が抽出された。年齢中央値は59歳で、本データベースで計算したNTM症の有病率は10万人あたり26.8と計算された。アスペルギルス症、喘息、慢性心不全、びまん性汎細気管支炎、逆流性食道炎、間質性肺炎、肺癌、乳癌、関節リウマチ、およびその他の癌 (肺癌、乳癌、前立腺癌、卵巣癌を除く) は男女ともにNTM症群で有意にオッズ比の上昇を認めた。男性ではさらに慢性閉塞性肺疾患、女性では慢性腎臓病、骨粗鬆症、シェーグレン症候群のオッズ比が高かった。</p> <p>NTM症患者の併存症としての有病率が高い疾患が複数存在することが示唆された。今後はNTM症患者の診療においてこれらの疾患を考慮するとともに、実臨床で併存症の有病率が高いことを確認していく必要がある。</p>				